



# 海上安全や 商売繁盛を祈願

国指定重要無形民俗文化財「大江八幡宮の御船神事」と県指定無形民俗文化財「飯津佐和乃神社の御船神事」が9月16日に営われました。

この神事は、江戸時代の相良湊の廻船問屋が海上安全や商売繁盛を祈願したのが起源とされ、長さ2メートルほどの菱垣廻船と樽回船の模倣船である「御船」を操り、神輿の先供をする行事です。

当日、浴衣姿の「船若」と呼ばれる青年が柱起こし、帆揚げの後、古風で優雅な練り歌と威勢のよい掛け声とともに荒々しく担ぐと、沿道の観客からは拍手が巻き起こりました。

県指定無形民俗文化財  
飯津佐和乃神社の御船神事

国指定重要無形民俗文化財  
大江八幡宮の御船神事